

群馬県 高校入試情報

令和7年度群馬県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は昨年と同じく5問、小問数は23問。
- 大問1は各領域の基本問題、大問2は2次方程式の利用(解き方の方針を選び過程も書く)、大問3は図形の証明、大問4は1次関数の利用、大問5は三平方の定理と相似の問題。
- 大問3は、授業場面で、コンピュータを使った図形の性質についての問題。大問4とともにどちらも登場人物の考えに沿って解いていく問題。
- 大問5は、相似と三平方の定理を使って建造物の高さを求める問題。
- 大問1で配点が41点もあるので、確実に得点しておきたい。

★群馬県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 作図問題の出題

・作図の問題が例年出題されており、いろいろなパターンの問題があるので、対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 作図」(p. 32～33)、「基本を使おう！いろいろな作図」(p. 170～171)で、基本となる作図から、よく問われる定番問題まで、作図のポイントを分かりやすく解説しています。

■ 証明問題の出題

・図形の証明問題がよく出題されている。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p. 82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p. 96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。
また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p. 182～183)で、集中強化できます。

解答過程を書く問題も出題されるので、普段から途中の計算などもきちんと書くようにしましょう。



★群馬県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容		●	●	●	●
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●		●	●
		方程式	●	●	●	
		比例と反比例		●		●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	
		データの分析と活用	●			●
	2年内容	式の計算	●	●		●
		連立方程式		●	●	
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●		●
		三角形	●	●	●	●
		平行四辺形		●	●	
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図		●	●	
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●		●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
出題形式別の傾向	大問数		6	6	5	5
		小問数	28	27	23	23
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1		1	
		立式・解法の過程の記述	2	2	1	1
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)				

★新研究で出題した群馬県の入試問題(令和7年度)

p.19大問4(1),p.37大問6,p.123大問5,p.183大問2